

# 第121回宇宙政策委員会 農林水産省説明資料

令和8年1月  
農林水産省

# 農林水産省における宇宙関連予算について

## 宇宙基本計画（抜粋）

【衛星データ（衛星リモートセンシング・測位）の利用拡大と政府によるサービス調達の推進】

衛星測位技術を用いた農機の自動走行技術、衛星画像を活用した作物の生育状況診断や、林業・水産業分野での衛星情報の活用等、  
スマート農林水産業技術の開発・実証・実装を一層推進し、農林水産業の生産現場における担い手の減少や高齢化による労働力不足などの課題解決を図る。

## 食料・農業・農村基本計画（令和7年4月11日閣議決定）抜粋

### 1 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

#### （1）食料システムのあらゆる場面での DX の推進

農業者のデータ活用による生産性向上等を実現するため、農業関連スタートアップ企業の創出や、それによる農業に関するサービスの拡大・強化を図るとともに、WAGRI や AI の一層の活用を推進する。また、農業の生産性向上、GX の推進、農業行政の効率化等に資する衛星データ活用技術の開発・普及及び衛星データの政府調達を推進する。

### 2 統計データの持続的な把握と利活用の推進

農林水産統計は、基本計画に基づく施策の企画・立案や、KPI 等の検証を行う上でも不可欠な、農林水産行政を支える情報インフラ及び公共財である。

このため、人工衛星データやAI等の新技術の導入を推進するほか、民間事業者的人材や能力を活用した業務の効率化・外部化を進めることにより、今後とも必要なデータの持続的かつ正確な把握を確保する。

## 【宇宙関連予算（令和7年度補正及び令和8年度概算決定額）】

令和7年度補正予算額	令和8年度予算概算決定額	合計
<b>100.3億円</b> (令和6年度補正：29.1億円)	<b>35.2億円</b> (令和7年度当初：45.2億円)	<b>135.5億円</b> (74.3億円)

# 農業分野における衛星技術の活用

## ▶ 衛星データ等を活用したスマート農業

- ・衛星技術・衛星データの利活用を含む、スマート農業技術の開発・供給の推進及びスマート農業普及のための環境整備を行い、スマート農業の社会実装に向けた取組を総合的に展開する。

### 【スマート農業技術活用促進法の開発供給実施計画の認定事例】

#### ・ (株) クボタ (R7年5月計画認定)

大区画圃場や多数圃場の見回り時間の削減等による作業適期・収穫適期判断の効率化及び追肥作業の効率化などに資する、ユーザーへの撮影画像の更新頻度が高い衛星リモートセンシングシステムの開発及びオンラインサービスでの供給を推進。



※写真は株式会社クボタの衛星画像を活用した生育マップのお試し版のイメージ

#### ・ (株) NTT e-Drone Technology (R6年12月計画認定)

傾斜地の柑橘防除における労働時間の削減や、衛星やドローンで取得したセンシング結果に連動した可変施肥等による作業の効率化や衛星測位情報を基にした正確な作業及び環境負荷の低減に係る国産大型ドローンの供給を推進。

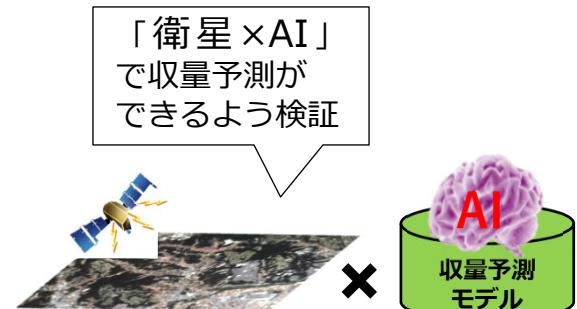


※写真は(株)NTT e-Drone TechnologyのAC101 connect

# 農業分野における衛星技術の活用

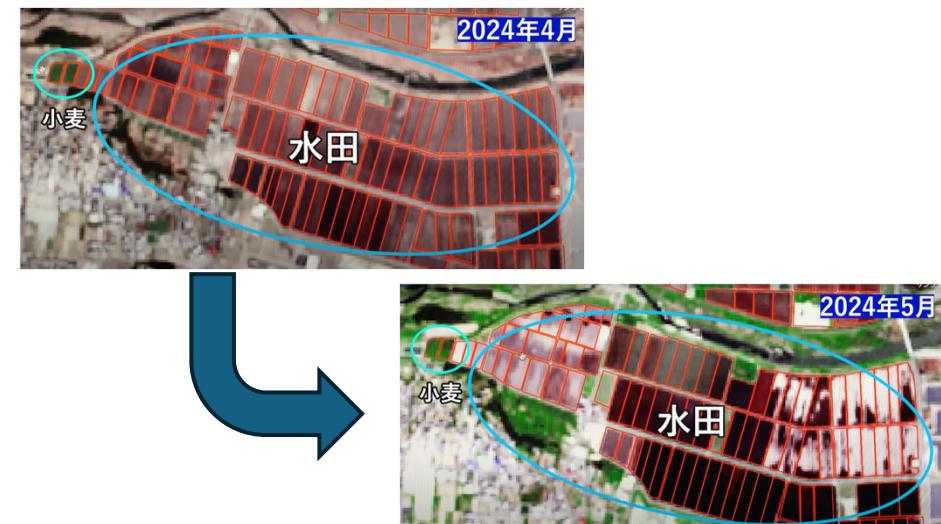
## ▶ 衛星データ等を活用した水稻収穫量調査の精度向上の取組

- 現在は、人工衛星で把握する地表面温度や作物の繁茂状況などのデータを活用し、7月15日現在（西南地域の早期栽培のみ）、8月15日現在の水稻の10a当たり収量を予測し、文字情報（前年並み等）で公表。
- 9月以降の収穫量調査は実測で行っているが、今後、人工衛星データやAI等のデジタル技術を活用することで水稻収量予測の精度を向上させ、人手によらない調査手法の実現を目指す。



## ▶ 行政事務の効率化に向けた取組

- 農地法に基づく農地の利用状況調査（農地パトロール）や中山間地域等直接支払交付金、水田活用直接支払交付金、経営所得安定対策などにおいて、衛星画像等を活用した効率的な現地確認を行えるように運用改正を実施。
- 衛星データと作付け情報をAIが学習し、時期による色の変化から作物の種類を自動判定することで、農地の現地確認において、人員・所要時間・経費を約6割削減した事例もある。



南相馬市における実証事例（出典：デジタル庁ニュース（YouTubeチャンネル）より）

# 林業・水産業分野における衛星技術の活用

## ▶ 林業機械の自動化への活用

- ・衛星測位技術等を用いて、丸太運搬作業や、植付けや下刈り等の造林作業等のスマート化に向けた林業機械・機器の自動化技術を含む開発・実証に取り組むことにより、林業の安全性や生産性の向上を図る。

## 【自動運転林業機械（開発・実証中）】



丸太運搬機械



## 下刈り機械

▶ 沖合・遠洋漁船への漁海況情報の提供

- ・ 人工衛星、漁船等からのデータを基にした海水温の広域分布図や各種海洋データを集約して、高精度の水温図、黒潮などの海流の方向流速等の漁場探索に役立つ情報を、漁業関係者等へ提供。
  - ・ また、上記のようなデータを分析することで、海洋環境の変化に対応できる精度の高い資源評価を行う。

